

『輝ク』（1933－1941）を中心に： －戦争協力ということ

発表者：シュリーディーヴィ・レッディ

（京都大学・人文科学研究所研究員／博報財団国際日本研究フェロー）

月日：2016年7月25日（月）

時間：18時30分～20時30分

場所：法政大学（市ヶ谷）ボアソナード・タワー19階D会議室

司会：小林ふみ子（法政大学国際日本学研究所所員・文学部教授）

主催：法政大学国際日本学研究所

【要旨】

『輝ク』は雑誌『女人藝術』（1928－1932）の友誌として全女性が手をつないで進んでゆくために生まれたものである。文学を愛した日本のインテリ女性はなぜ、どのようにして、銃後の運動に走り、戦争協力することになったのか、『輝ク』を中心に活躍した女性たちの発言について考察する。

これまで長谷川時雨の戦争協力は知られてきたが、他の日本のインテリ女性はどんなことを行っていたかを考えてみる。

※どなたでも参加いただけます。事前申し込み不要です。

法政大学国際日本学研究所

TEL：03-3264-9682

E-mail：nihon@hosei.ac.jp

<http://hijas.hosei.ac.jp/>

